



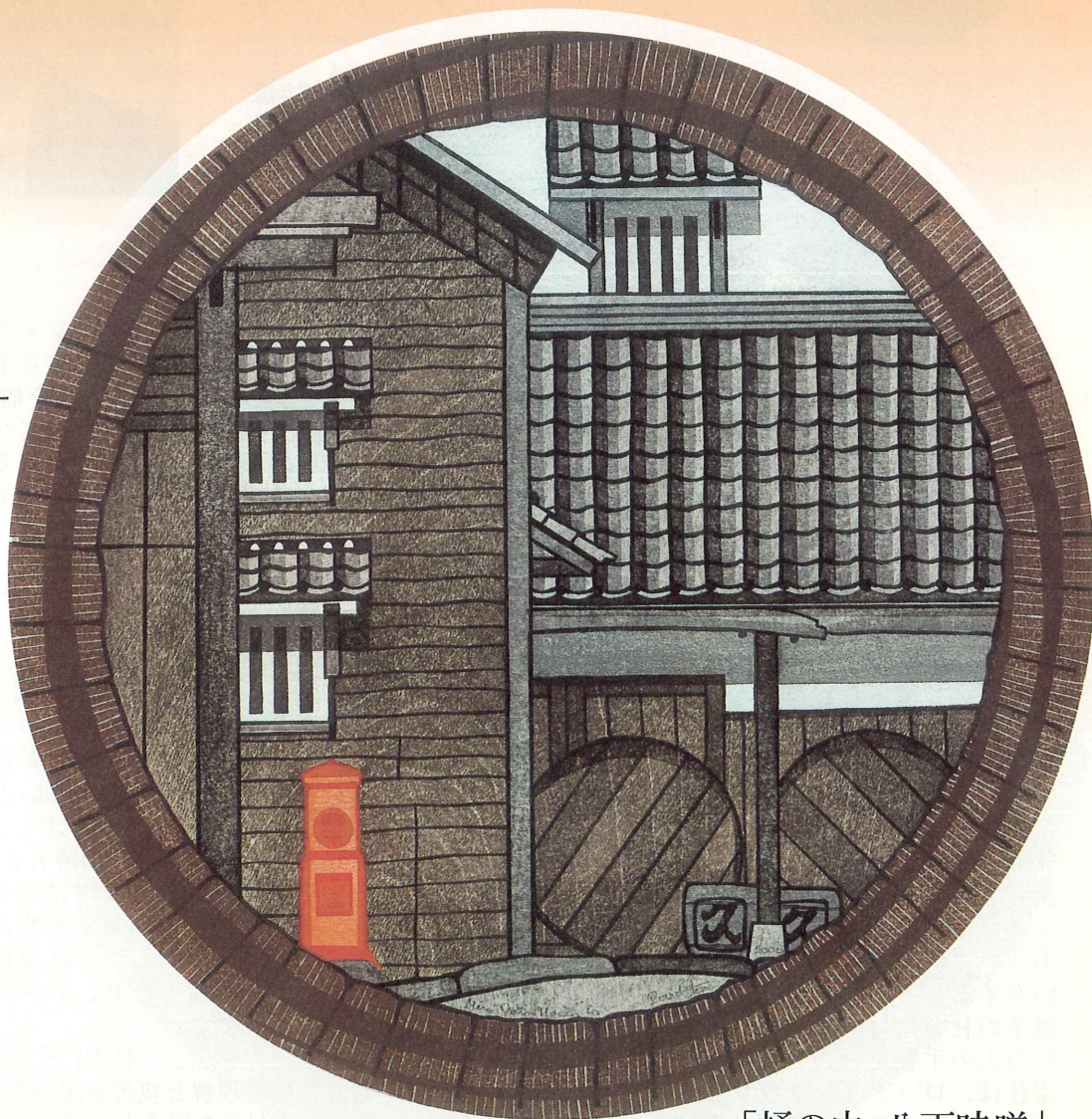
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Sep 2001

9月

No. 4

2001～2002
ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760



「桶の中・八丁味噌」

デイヴィッド・ストーンズの見た日本の心より

ガバナー月信

2001～2002年度
国際ロータリー第2760地区

ガバナー挨拶

職業奉仕・
米山月間に寄せて2001～2002年度
国際ロータリー第2760地区

ガバナー 太田 賢太郎



10月はロータリアンとクラブが、職業奉仕の理想を日常実践するように強調するために職業奉仕月間と定め、職業奉仕に関する特別なプログラムを実践するよう要請されております。職業奉仕はロータリーの原点でありこれこそロータリーのロータリーたる所以だという主張もある。ロータリー綱領は、「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹育成することにある」第2に事業および専門職務の道德的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきこと；そしてロータリアンすべてが、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること」となっている。ここで注意すべきは、自分の職業に一生懸命になることは当たり前のことで一般の人々もそれを行っている。ロータリアンは自分の職業を通じて社会に奉仕するのだということである。そして職業奉仕の理想に込められているものは、(1)あらゆる職業において最も高度の道德的水準を守り推進することでその中には雇主、従業員、同僚への誠実さ、あるいは同業者、一般の人々すべてに公正な取扱いをすることも含まれている。(2)あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること。(3)自己の職業上の手腕を社会の問題に役立てること。職業奉仕は、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割はたびたび職業奉仕を実践してみせることによって、またクラブ自身の行動に職業奉仕を生かすことによって、模範となる実例を示すことによって、さらにクラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を实践、奨励することである。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って、自らと自分の職業を律し、併せ

てクラブが開発したプロジェクトに応えることである。特に商業道德に反する事例が散見され、ロータリーの職業奉仕の重さを痛感するものである。職業奉仕は陰徳であり、目立つものではないが日常の中で積み重ねる必要があります。そうすることによって、「最もよく奉仕する者 最も多くむくいられる」ことが実現されると思われる。

10月は米山月間であります。米山奨学事業については既によくご承知のことと思いますが月間にあたりもう一度確認をしよう。米山奨学事業は、日本のロータリー創設の父である米山梅吉氏の功績を記念して1952年に東京RCによって始められました。その事業が日本全国のロータリー・クラブの合同事業に広まり、1967年には文部省の認可を得て財団法人となり現在にいたっております。当初2名の奨学生でスタートした米山奨学事業は、近年では年間学生数1000名となり、過去累計で9533名の支援をするまでになり民間最大の奨学団体であります。米山奨学事業の特色として、奨学生一人ひとりに対して、各地域のロータリークラブが世話クラブとなり、ロータリアンのカウンセラーがつきます。

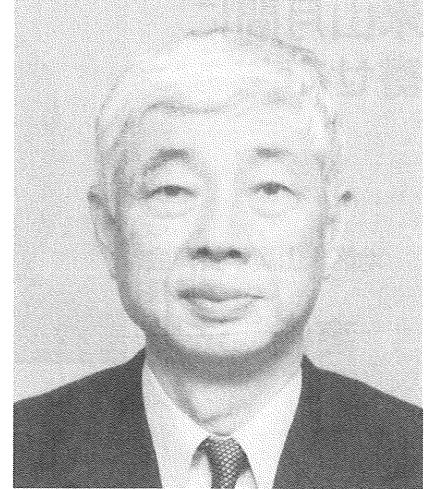
勉学研究を志して日本に在留する外国人留学生に対し、国際理解と親善を深めるため日本のロータリアンの寄付金を財源としている。

この寄付も不況の影響等から減ってきている。1人当たり寄付額は、わが第2760地区は、年15,245円で、全国平均15,046円に比較して若干上まわっている。多いところでは第2590地区25,803円、第2640地区24,176円、第2770地区23,095円等である。寄付の減少は支援する留学生の数の減少につながる。会員の皆様の尚一層のご協力をお願いするものである。

委員長挨拶

職業奉仕月間に寄せて

2001～2002年度
国際ロータリー第2760地区
職業奉仕委員会委員長
関口 宗男



1 ロータリーにおける職業奉仕

ロータリーは、良質の精神的親睦があり、例会出席でロータリアン仲間と学ぶうちに段々と自己改善の状況はメッキの状態から身についてロータリアンに改善され、奉仕の心、ロータリーの心が育まれてきます。つまり、奉仕の前に人間修業が優先するのです。二宮尊徳も、「土地を耕す前に先立って、先ず心の土地を耕すべし」と言っています。会員一人一人がクラブ例会の中で奉仕の心、ロータリーの心、他人に対する思いやりの心、他人への愛の心、そして自分の人格形成と実力の涵養、こういうものを例会の中で異業種の人たちが交流しあう中から、人の背を見て我が身を正していく、この繰り返し作業の例会活動を通じ心の培養を図っていく心を磨いていく。例会をでると、職場、その周辺一同業者関係、下請関係あるいは取引関係において奉仕の心、ロータリーの心を実践していくのがロータリーにおける職業奉仕です。

2 職業奉仕委員会の任務

クラブの職業奉仕委員会というものと、会員自身の職業奉仕が、常に混乱しているわけです。職業奉仕が分かりにくいといわれる一つの原因は、これを混同して考えるからなのです。職業奉仕というのは、自分の職業に対してなんかを奉仕するのではないのです。会員個人個人が自分の職業の質を高め、道徳性を高めて、その職業を通して社

会に奉仕しようというものです。だから個人活動が主体です。クラブの職業奉仕委員会には、会員個人の職業の質を高めるための決定権などないのです。クラブの職業奉仕委員会がする仕事というのは、啓蒙運動であり、勉強会を作ることであると思うのです。会員を啓蒙するのが委員会の仕事です。つまりクラブが行う職業奉仕活動はクラブ会員であるロータリアン個人個人の心の中に職業奉仕の理念を植え付けそれを実践させる啓蒙活動であると思います。

3 具体的な啓蒙活動

- (1)方式、フォーラム、セミナー、卓話等クラブ全体で開催するのも良いでしょうし、少人数でファイアサイド、少人数の職業奉仕勉強会、研修会で実施するのも効果的だと思います。年間を通して出来るだけ何回も開催してみてください。
- (2)テーマ、ロータリーの歴史、綱領、奉仕の理想、奉仕の哲学、決議23-34、ロータリー道徳律、四つのテスト、職業宣言、職業のルーツ、会員の仕事、公害の実情等々、テーマは幾らでもあります。
- (3)職業奉仕の会員卓話について一言するとロータリアンとして活動を何年も続けることによって、ロータリアン同士と研鑽を重ねることによってこうなったというロータリーを基本にした卓話をして頂くことが感銘を受けるであろうし会員増強にもつながるものと思います。

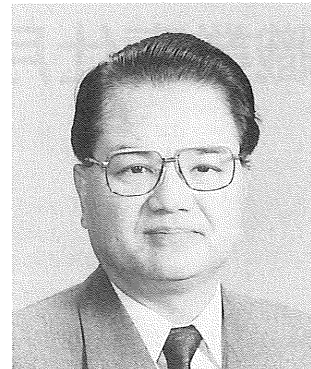
委員長挨拶

米山月間に
寄せて

地区米山奨学委員会
委員長
高橋 法昇

米山月間に
寄せて

地区米山学友委員会
委員長
鈴木 茂久



既に御存知のこととは思いますが、米山記念奨学会は、日本最初のロータリークラブを創設させた米山梅吉氏の功績を記念して東京ロータリークラブが1952年に米山奨学制度を設定、1953年から募金を開始した「米山基金」より始まりました。

日本のロータリーは次の3つの奨学事業に奉仕しています。

- イ、ロータリー財団による学生の海外派遣と受け入れ
- ロ、国際青少年交換
- ハ、米山奨学事業

その目的は国際理解と親善を深めるために、学業の他にコミュニケーション能力、異文化理解、地域ボランティア活動に意欲ある優秀な留学生を支援することにあります。

日本にある留学生援助団体は、政府の他に地方自治体や民間の団体など200以上の団体がありますが、その中であって最大の規模と実績を有しているのが、我がロータリー米山記念奨学会です。それ故に今後ますます、当会に対する期待と要望は高まるものと思われます。しかしこの事業は全てロータリアン皆様の善意あるご寄付で成り立っています。

米山記念奨学会独自の事業としては・・・

- 1. 米山奨学生の選考
- 2. 奨学金の支給
- 3. 世話クラブとカウンセラー制度の支援

以上の事業により積極的な御支援と御協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

米山記念奨学会が設立されて以来、奨学金支給者数は累計で1万人を超え、国籍別では94ヶ国になりました。ロータリーの国際奉仕事業として「知的国際貢献」を充分果たしているわけです。

さて、観点を変えますと寄附の成果である学友（元米山奨学生）の活躍が大変興味あるところです。外交官として日本との架け橋の役割を果たしている学友、経済界で中心的リーダーシップをとっているOB/OG、行政、教育、福祉など各界で活躍する学友が増えています。

学友会活動について

1. 日本に於ける米山奨学生学友会

2001年度には国内19地区地域にて組織されています。

1. 海外に於ける米山奨学生学友会

既存の韓国、台湾の他にバングラディッシュ、タイ、マレーシアなどで組織化されつつあります。

1. 第2回全国学友会代表者会議開催される

1. 第5回米山奨学生学友会（愛知）総会開催される

太田賢太郎ガバナー始め岡部快圓、藤井克己、林隆二、小山慎介、中根幹雄、伊藤宏、の地区役員の皆様方、加納泉理事の臨席の元で楽しい雰囲気の中で本年度がスタートいたしました。役員改選の期に当たり、クネヒトペトロ会長、劉正幹事長以下全役員が留任と決定いたしました。遠い異国の地で頑張っている学友諸君に我が委員会は心より拍手し、支援してまいります。ロータリアンの皆様もご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

太田ガバナー

神田知事

中日・朝日・読売・毎日各新聞社を訪問



神田知事と太田ガバナー



地区大会出席要請、愛知万博など熱心に懇談

7月2日(月)太田賢太郎ガバナーは藤井克己地区幹事、山中寛三地区大会実行委員長(碧南RC)を伴い、知事公館に神田知事を訪ね、地区ガバナー就任のあいさつを行うとともに、11月17日、18日碧南市で開催の地区大会への出席を要請しました。

太田ガバナーは「地区便覧」と「ガバナー月信」を知事に手渡し、2001～02年度RI方針と地区の活動目標、方針などを説明。

神田知事は万博問題のむずかしい局面の中でも、すこぶる元気な笑顔で太田ガバナーを迎え、「ガバナーは大変な役職と聞いていますが体に気をつけて頑張ってください」と激励されました。

地区大会については山中寛三地区大会実行委員長(ホストクラブ碧南RC)の出席要請に「日程を調整し、出席させていただくよう努力します」と答えられました。

この後愛知万博が話題になり、知事は「会場の姿が出てくればムードも盛り上がるでしょう。ロータリーの協力をお願いしたい」と熱っぽく訴えられました。

太田ガバナーは「いま全国のガバナーに協力を呼びかけています。会期中には会場内にロータリーブースを設けて各クラブの例会を催すことも計画しています」と全面協力を約束しました。

7月3日(火)、5日(金)の両日は、四新聞社を訪問し、ガバナー就任あいさつを行いました。

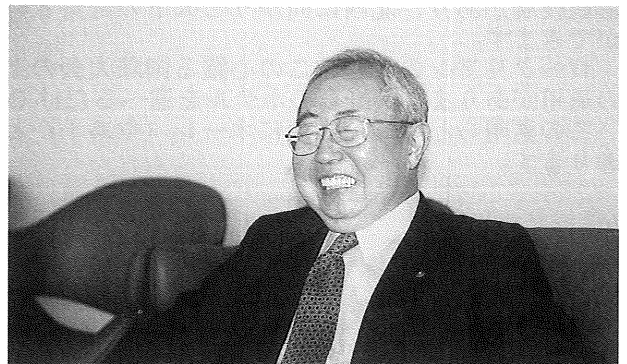
中日新聞社は大島宏彦会長、朝日新聞名古屋本社は島村秀一代表、読売新聞中部本社は伊佐早幸男代表、古川洋編集局長、毎日新聞中部本社は長崎和夫代表が応対されました。

毎日新聞社と読売新聞社へのガバナー訪問は初めてで、熱心な懇談となりました。

(地区広報委員長 種村桂介記)



読売新聞中部本社代表 伊佐早幸男氏



中日新聞本社代表 大島宏彦氏



毎日新聞中部本社代表 長崎和夫氏



朝日新聞名古屋本社代表 島村秀一氏

バルセロナ国際大会へのお誘い

バルセロナ国際大会委員長 マリオ・グラッシ

小高いモンジュイックの丘の頂上に立って、バルセロナの賑やかな通りや、地中海のきらめく海を見下ろしている光景を想像して下さい。そうすれば皆様は、スペインの照りつける太陽と、紺碧の海からのそよ風を感じることが出来るでしょう。また、眼下に広がる、たぐい稀な都市、あらゆる喜びに満ち溢れているこの都市を探索したくなるでしょう。更に皆様はこの丘の上にオリンピックのために建てられ、第93回ロータリー国際大会の会場となるサン・ジョルディ館での素晴らしい体験を心から望まれるでしょう。

情熱の国スペインで開催される2002年ロータリー国際大会へ出席されれば、そこから得られるものは計り知れません。伝説の都バルセロナで行われる今年の大会は、皆様の宝物ともいえるべき生涯の思い出となるでしょう。

国際大会の中で最も深い感銘を受けるイベントの一つは、開会の国旗入場式です。一度これを体験したロータリアンは、その感動的な催しを決して忘れません。特に、バルセロナ国際大会では国旗入場式を感動的にするための特別な計画が進んでいますから、ぜひ見逃さないで下さい。

国際大会でのもう一つの大切な伝統は「友愛の家」です。バルセロナでは、旧王宮が「友愛の家」として使われます。「友愛の家」ではスペインの優れた製品、最新の服、豪華な革製品、素晴らしいワインや美しい手作りの磁器などの買物を楽しむことができます。ここで皆様はロータリーの親睦の熱気に包まれるでしょう。皆様はこの国際的な友好のうちに地元の料理や、ワインを味わうことが出来ます。

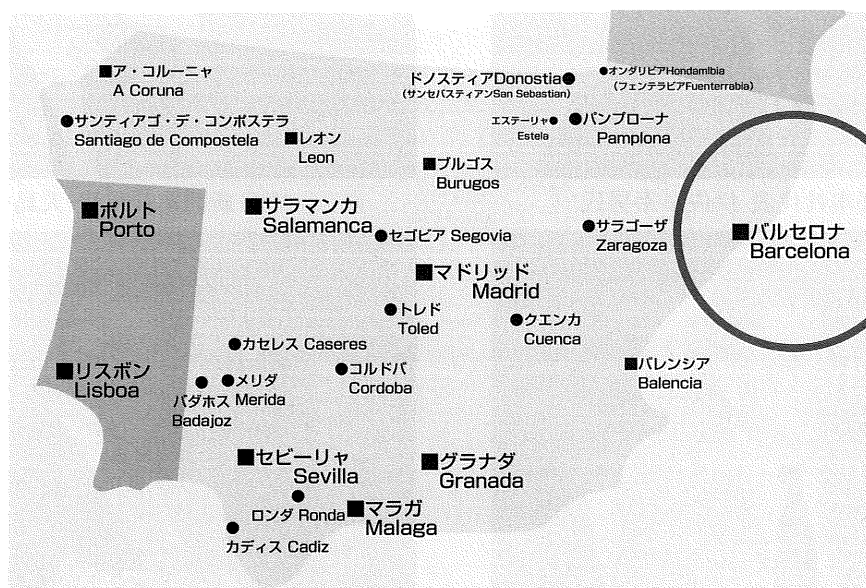
この国際大会の研究集会やパネル討論では、会員増強と退会防止、ポリオ・プラス・キャンペーンの進捗状況、クラブの改善方法など、沢山のタイムリーな話題を取り上げます。こうして、世界中のロータリーから多くのことを学び、アイデアを交換するうちに、ロータリアンとしての視野が一層大きく広がります。

皆様はバルセロナのどこに魅了されるでしょうか？バルセロナでは美食や美しい景色を楽しむことが出来るばかりでなく、世界的に有名な、ピカソの初期の作品を集めた美術館やミロの美術館などを訪ねることができます。また世界最高水準のモダンな建築物を見ることもできます。天才的な建築家ガウディはバルセロナに沢山の貴重な建物を造りましたが、ユネスコの世界遺産であるガウディのグエル公園や、100年の後も未完成のまま、未だに建造が続いているサグラダ・ファミリア（聖家族教会）の偉観も必見の名所です。

バルセロナの有名な目抜き通り、ランブラス通りを散策しながら街の中心に出られますが、ちょっと道をそれて町ゴシック様式の一角に入ると、そこでは中世の建築物や古いローマ時代の城壁跡を見ることができます。更に、バルセロナから海岸のリゾート地帯を探索すると、タラゴナのローマ遺跡・円形競技場があり、北西に向かうと天下の奇景といわれる奇岩の山、モンセラーの古い修道院を見ることができます。

ロータリアンの皆様、この心躍る国際大会の出席計画を立てるのは今です。早期登録には割引料金の適用があります。好みのホテルを選べるだけでなく、特別行事も予約できます。

この素晴らしい国際大会にオーレ（やあ！）と言って皆様にお目にかかる日を心から楽しみに致しております。



《公式訪問報告》

碧南ロータリークラブ

〔会長／井上達夫 幹事／青木 稔〕



高浜ロータリークラブ

〔会長／神谷治之 幹事／川角年比古〕

8月1日(水)／衣浦グランドホテル

2760地区ガバナー公式訪問の最初の訪問クラブとして8月1日、衣浦グランドホテルにおいて碧南、高浜合同例会が開催され2クラブ120人の会員が出席しました。

ガバナーから卓話を頂き、RIテーマの意味、会員増強が叫ばれている背景やロータリーの現況について理解を深めることが出来ました。例会に先立って開かれた会長幹事会ではロータリー情報委員長の役割が強調されました。和やかな又大変有意義な時間を持つことが出来ました。

名古屋西ロータリークラブ

〔会長／藤本博之 幹事／荒川永太郎〕



8月2日(木)／名古屋マリオットアソシアホテル

記録的な猛暑の真っ只中、2001年8月2日(木)太田賢太郎国際ロータリー第2760地区ガバナーの公式訪問が行われた。恒例の会長幹事懇談会に、リチャード・D・キングRI会長の教育研修に対する要請にこたえてロータリー情報委員長も参加するように、そして会員メンバーに対して、ロータリー情報の浸透を図ってほしいとの要請があった。そして、ガバナー訪問の目的の一つは、RIの役員であるガバナーが、クラブに対してRIの方針を解説し、理解を得ることとの説明があった。

例会における講話でも、Mankind is our business (人類が私たちの仕事)というテーマが大きすぎてわかりにくく、説明が難しいこと、しかしすごいテーマであることを強調された。そしてRI会長の方針について懇切な説明があり、特にロータリーの今後の進むべき方向について、この4月シカゴでの規定審議会で採択された幾つかの案件を例にして指針が示された。今後のロータリーの変化について、我々ロータリアンの順応性が問われることなど、力強いそして含蓄あふれる講話であり会員一同深い感銘を受けた。

東知多ロータリークラブ

〔会長／戸田安信 幹事／桑山和彦〕

東海ロータリークラブ

〔会長／山上剛生 幹事／原 譲一〕



8月4日(土)／あいち健康の森プラザホール

太田ガバナー、藤井地区幹事をお迎えし東海RCとの合同例会を35度を超える酷暑の8/4例会場変更で“あいち健康の森プラザホール”にて開催されました。事前懇談会には急遽情報委員長も交えて行われ、昨年度の地区協ホストへの労いのお言葉も頂き、又教育研修の重要性等に付いて御指導頂きました。

卓話では両クラブの活動に評価を頂き、ついでロータリーは自身を磨く場であるから役が廻って来たら喜んで施る様にと、又今年度RIテーマの御説明を頂き大変有意義な時間を過ごす事が出来有り難う御座いました。

名古屋中ロータリークラブ

〔会長／盛田素生 幹事／藤田雄三〕



8月6日(月)／名古屋観光ホテル

公式訪問日、何か落ち度はないかと心配しつつ、ガバナー、地区幹事をお待ちしておりましたところ、お二人がにこやかな笑顔にてご来場。会長幹事懇談会では、和やかな中に太田ガバナーご自身の温かい人柄に触れ、藤井地区幹事の正確なご教示とあいまってのご指導に感激、感謝にたえませんでした。例会に於きましても素晴らしい卓話、重ね重ねお礼を申し上げます。



西名古屋分区

名古屋中ロータリークラブ

音楽を聴いて奉仕を考える

当クラブは8月29日セントラル愛知交響楽団共催、しらかわホール協賛にて、ロータリー・サマー・チャリティー「Welfare Concert 松尾葉子とともに」を開催しました。演奏会はロータリー財団奨学生としてフランスへ留学された指揮者松尾葉子女史のお話と身近なクラシックや映画音楽で進められた。益金は3月当クラブで卓話された三笠宮寛仁親王殿下のアドバイスもあり、名古屋市守山区の知的障害者通所更生施設、社会福祉法人ゲマインダハウス「青空の家」に贈られました。

当日は会員全員に参加の意識を高め、知的障害者による手作りクッキーの即売会、親睦の場としてのワンカップドリンクコーナー、そしてコンサートをインターネットを通し全世界へ同時中継発信しました。

今回の事業に寄せられました西名古屋分区の各

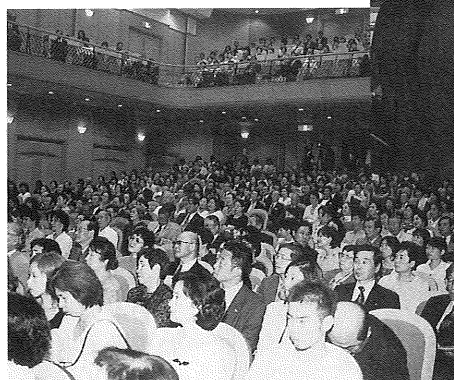


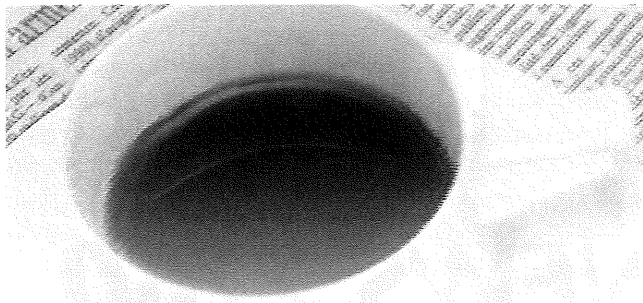
クラブをはじめとするロータリー会員及びご家族の皆様のご支援に対し心よりお礼申し上げます。

なお、このライブの様子は、当クラブのホームページを通してインターネット放映されておりますので、是非皆様アクセス下さい。

ホームページアドレス

<http://www.nagoyanaka-rc.org/>





Hello!

第2760地区 分区ニュース

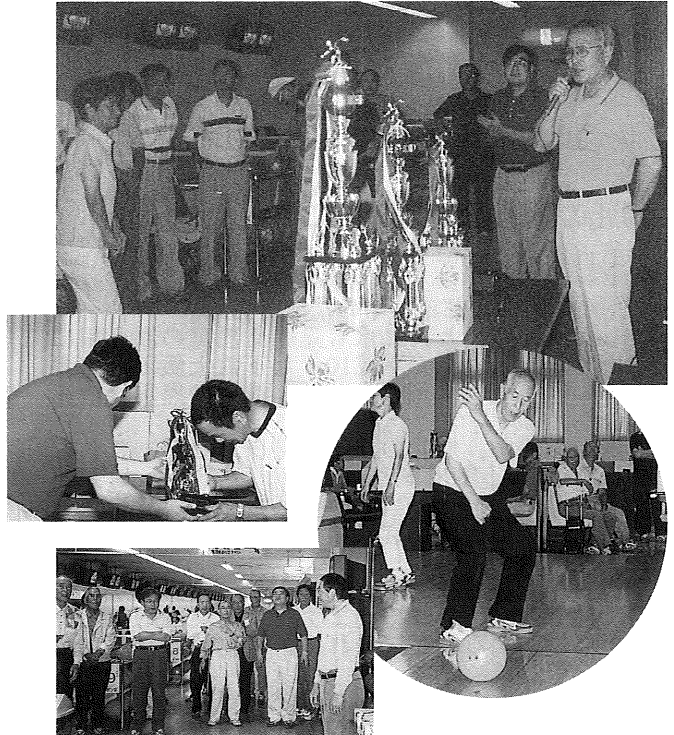
NEWS 2760

南尾張分区

東知多ロータリークラブ

身障者ボウリング大会

大府市身体障害者第3回ボウリング大会が東知多ロータリークラブ後援のもと9月2日(日)、名古屋市緑区の名古屋グランドボウルで開催された。身障者40余名、ロータリアン20余名計約70名が参加した。回を重ねるたびにお互いの親密感が増し、楽しい雰囲気の中でゲームは進行し、県大会への出場者も決定した。RC会長杯、豪華賞品とゲーム代が寄贈され、身障者代表からも感謝の言葉が述べられ、来年の再会を誓い合った。



西尾張分区

津島ロータリークラブ

天王子ども塾 一津島なぞとき探検隊一

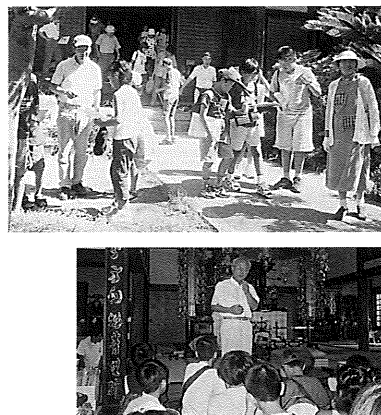
さる、8月23、24日の2日間にわたり、ボランティア団体「天王文化塾」主催の天王子ども塾が行われました。津島ロータリーの新世代委員会も共催いたしました。

この地方の小学4、5年の子供達60余名が市内のお寺に集まり、自分達の住んでいる街の再発見の勉強をしました。

歴史ボランティアの皆さんの説明を聞き、一緒に街の散策をし、大学生のお姉さん達と、江戸時代からある共同井戸のデコレーション作業をし、歴史的遺産とどの様に関わっていくかを学びました。

又、昼には手作りの流しそうめん、お寺では坐禅を楽しみ、最後にグループ別におもしろかった事、気になった事の発表会をし、夏休みの2日間を楽しく過ごしました。

この体験を通じ、自分達の街に少しは、関心を持った事でしょう。





東名古屋分区

名古屋名北ロータリークラブ

瀕死の都市河川を清流に

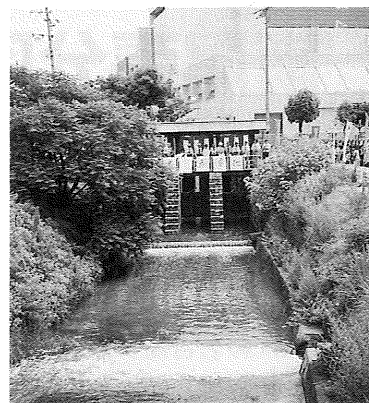
名古屋市北部を流れる“黒川”は、昔は「天然プール」と呼び、子供達の歓声が聞こえ、シジミや小魚もいた都市の中の清流でした。

しかし、時代と共に水も途絶え悪臭の漂う川になっていましたが、平成10年地下鉄上飯田連絡線工事の湧出地下水が導水され、瀕死の黒川に清流が蘇りました。

黒川復活は、地元の人達の喜びとなり、これをきっかけに「黒川ドリーム会」が発足し地元の人々の要請で、発足当初から名古屋名北ロータリークラブが、会の運営に協力と応援をして来ました。

今年8月、地下鉄工事終了により、庄内川からの期限付導水が行われています。今後継続的に庄内川から導水することになれば、浄化装置なども必要となります。

ロータリーの目的でもある社会奉仕と環境保全に貢献するこの事業を、2760地区でも支援していただければ幸いです。



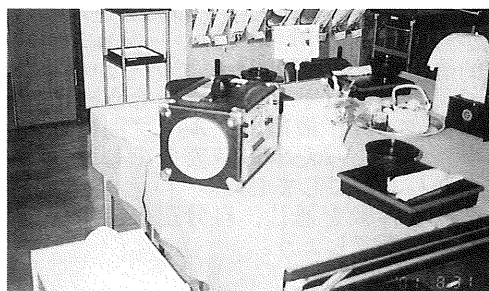
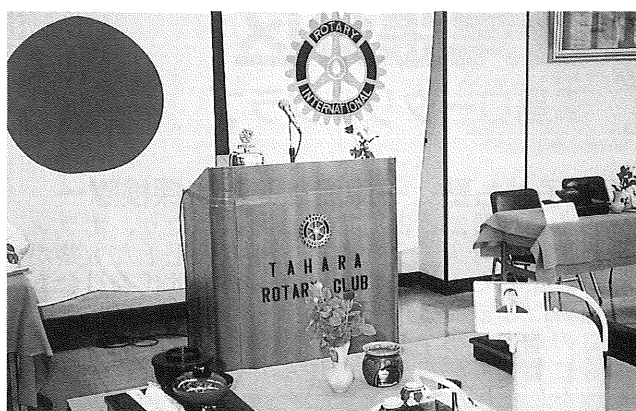
東三河分区

田原ロータリークラブ

例会場にお香の薫り

例会を楽しいものにしようと、どのクラブも苦心しているが、田原クラブでは会員の感覚に訴えて、アイデアを展開中です。

味覚には美味しい例会食、視覚には卓上にバラなどの花一輪、聴覚にはバック・グラウンド・ミュージックの曲選びなどだが、きわめつけは、嗅覚をめがけたお香の薫りだ。各卓上の香炉や灯火上のプレートには、S.A.A.と会場委員が例会ごとにお香、アロマ・セラピーの樹脂、ハーブなどを用意して、会員たちの心をいやしている。





西三河中分区

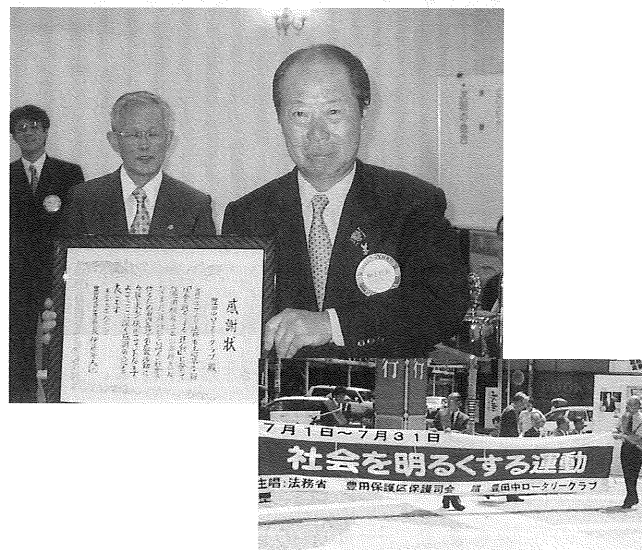
豊田中ロータリークラブ

豊田中RC（会長山下哲夫）は、社会奉仕の一環として、7月2日豊田市駅前にて、法務省主唱、第51回「社会を明るくする運動」に参加した。

式典に先立ち、豊田中RCから、啓発用横断幕三枚の贈呈式が行われ、式典には関係各位200余名の参列者があった。

式典後、会員は主催者と共にキャンペーン・グッズの配布に汗を流した。

関係各位に感謝され、市の広報・新聞社・テレビ局の取材もあり、後日主催者より豊田中RCに感謝状の進呈があった。



西三河分区

碧南ロータリークラブ

モノからココロへ

碧南RCは伊勢湾台風来襲翌日の1959年9月27日に刈谷RCをスポンサークラブとして、24名のチャーターメンバーで発足しました。

本年度RI2760地区大会のホストを勤めます。そのテーマは、「モノからココロ」です。今こそロータリアンが活躍しなければならぬ心の時代であります。碧南市は矢作川の河口の衣浦湾に面した人口7万人足らずの小さな港湾都市です。地区大会会場は碧南市臨海体育館ですので満足な接待は出来ませんが、82名の会員はココロより皆様をお迎え致します。



第14回インターアクトクラブ海外研修派遣

ブリスベーン研修報告



地区インターアクト委員長

岩瀬 康彦

昭次郎先生、副団長に光ヶ丘女子高等学校IAC顧問で若手の小寺美知恵先生をお願いし、アドバイザーとして岩瀬康彦地区インターアクト委員長、村瀬竜雄地区副委員長、

第14回インターアクト海外研修派遣は、7月27日から8月5日までの10日間、オーストラリア・ブリスベーン市で行われました。

今回特筆すべきことは、福田清成パストガバナーの示唆もあり、一年余のEメール交換の末、現地クレストウッド・インターアクトクラブと交流会をもつと共に、ナースリー・ホーム（老人ホーム）でのボランティア活動が実現したこと。ホームステイも語学研修も郊外で展開され、オーストラリアの雄大な自然の中で日々過ごすとともに、「オーストラリアの良さを知りたければ郊外にある」ことを実感できたこと。そして何よりも、参加したメンバーの仲間意識・一体感が日を追って醸成され、研修の成果を何倍にも高めてくれたことなどが挙げられよう。

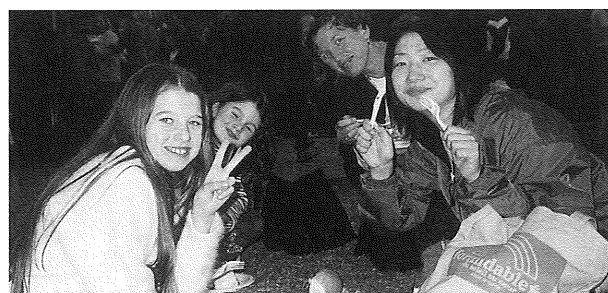
参加者

研修に参加したのは、地区インターアクト16クラブから推薦を受けた38名（男子11名、女子27名）。団長には岡崎城西高校IAC顧問でベテランの久米



名古屋RC谷川修氏が同行し、全般調整、連絡、会計、撮影などを担当しました。例年になく男子メンバーの参加が多く、良きリーダーシップを発揮してくれました。

ホームステイ



参加したメンバーの最大の期待と不安は、ホームステイに集約されているといっても過言ではありません。到着当日、ホームステイ家族が迎えにくる時間が迫ってくるにつれ、あの不安と緊張に包まれたメンバーひとりひとりの姿を見ていると、これから10日間異文化の中で耐えていけるのか、本気で心配になる程でした。それが数日もすると、笑顔をもってホームステイ家族を語り、コミュニケーション不足による失敗を笑い話とし、将来の夢を話せるようになる…、若者たちの持つ無限の可能性に妬みすら感じさせられます。日々の生活の中で文化や習慣の違いを肌で感じ、生きた英語力の向上を図り、国際感覚を身につけていくことは、成長期の若者にとって必要不可欠なことであり、自ら不安を乗り越えて築くことのできた人間



関係は、生涯忘れ得ぬ感動体験となっていくに違いありません。

現地インターアクトクラブと協働プログラム

9600地区前インターアクト委員長、アラン・グレイグ氏の尽力により、クレストウッド・カレッジのインターアクトクラブと交流会を持ち、教会が経営するナースリー・ホーム（老人ホーム）を訪問しました。

出発直前になって、ようやく実現できたプログラム（現地は通常学校期で放課後の時間が大きく制約されるうえ、移動手段など多くの難問を抱えていました。）ではありましたが、「共に何をやるか？」については打ち合わせ不十分のままの到着でした。しかし、心配は杞憂に終わりました。彼等は、ホールに集まったホームのメンバーの前で、オーストラリアと日本の歌・ゲーム・踊りなどを交互に演じはじめたのです。しかも3グループに分かれ、寝たきり老人の人々の部屋、あるいは個室メンバーの人たちの前で、それぞれに精一杯持てる力を発揮してくれました。

別れ際、「今度はいつ来てくれるのか」と手を握って離さない老人の肩を抱きすくめている生徒の姿が印象的でした。



フェアウェルパーティー

「本日はインターアクト号への乗船ありがとうございます。ただ今からしばらく私たちが皆様のサービスをさせていただきます…」。ホームステイ家族を乗客に見立て、自らスチュワード、スチュ



ワーズに扮したメンバー達が、寸劇（10日前は不安におののいていた若者達が、英語で演じている!!）、歌ジェスチャー・ソング、ゲーム、と進み、最後の英語での感謝スピーチと花贈呈になる頃は、涙、涙、涙…。ホームステイ家族と抱き合って別れを惜しむメンバーひとりひとりの姿に、今回の研修の成果がすべて凝縮されているように思いました。

最後に、数は限られているとはいえ、明日を担う若者たちに生涯忘れ得ぬ感動体験と成長への契機を提供できる…。海外研修派遣の意義はそれに尽きると思います。

地区のロータリアン、提唱ロータリークラブのサポート、事前研修の講話から出発式に空港まで駆けつけていただいた太田賢太郎ガバナーをはじめとする地区役員の皆様の理解、学校関係者、保護者など実に多くの人々に支えられていることを改めて憶え心より感謝申し上げます。

第14回インターアクト海外研修、多くの実りと感謝のうちに無事終了しました!!

委員会報告

ロータリー財団
合同委員会報告地区ロータリー財団委員会
委員長

石川 敬



2001～2002年度におけるロータリー財団関係5委員会の合同委員会が、太田ガバナー、藤井、蜂須賀正副幹事、石川PG財団カウンセラー以下財団5委員会メンバー出席のもと開催され、今年度におけるロータリー財団関係5委員会の事業計画及び地区内全ロータリアンに対する寄付目標の要請額、地区委員会の行事予定、委員会の運営方針等について審議が行われました。

今年度は、太田ガバナーの最重点課題である会員増強を、側面的にアピール出来る財団活動を、より積極的且つ多角的に展開出来るように、配慮した事業内容を計画したいと考えています。事業計画は次の通りです。

1. ロータリー財団各委員会

(1) ロータリー財団委員会

- ・地区内各RCの寄付目標の達成とPR活動の展開
1人＝100ドル寄付（地区内55万ドル）と各クラブ
1人＝ベネファクター寄付の推進（地区内総計60万ドル）
- ・地区「財団セミナー」の開催（9/11(木)予定）
- ・地区「ロータリー財団委員長会議」の開催（11/6(火)予定）

- ・地区「DDFプログラム選択会議」の開催（12/17(月)予定）
- ・ロータリー財団関係各委員会主要事業予定表の作成と、その促進支援及び地区事業の推進
- (2) 財団奨学委員会
 - ・各年度派遣予定、国際親善奨学生の留学指導と対RIとの折衝、連絡
 - ・当該年度の派遣国際親善奨学生の候補者選考
 - ・ジャパン国際親善奨学生の受入事業とその拡充計画の推進（D3360、D5010）
- (3) 財団学友委員会
 - ・奨学生の為の「ガイダンス」の開催と「留学の手引き」及び「留学情報」のPR
 - ・奨学生の為の「オリエンテーション」の開催
 - ・奨学生に依る「財団学友会総会」の開催とその事業拡充の展開
- (4) 研究グループ交換（GSE）委員会
 - ・各年度における「研究グループ」（今年度＝韓国）の受入と派遣事業の推進
 - ・研究グループ交換事業の地区内支援体制の確立と記録作成
- (5) ポリオプラス委員会
 - ・ポリオ撲滅運動事業の継続（1985年以降継続実施中）
 - ・ポリオ撲滅への寄付金とその後方支援に対する援助及びPR活動の展開
- 2. 地区事業
- (1) 昨年度よりの継続事業の推進
 - ・RI第5010地区との「同額補助金プログラム」の促進
 - ・地区内RCに於けるCAP（地域社会援助プログラム＝community assistance program）事業の推進の支援
- 3. 各委員会の予算管理
 - ・各委員会は「事業内容の記録」及び「予算支出の記録」を管理し、委員長責任において「年度末決算」を行い文書報告する。

2005国際博
委員会報告地区2005国際博委員会
委員長

内藤 明人



7月23日の愛知万博推進最高会議における、事業推進の「基本的な枠組み」についてご報告いたします。

2005年日本国際博覧会（愛知万博）の主なBIE登録事項

1. 名称 2005年日本国際博覧会
2. テーマ 自然の叡智
3. サブテーマ
 - ①宇宙、生命と情報
 - ②人生の“わざ”と智恵
 - ③循環型社会

4. 開催期間 2005年3月25日～9月25日

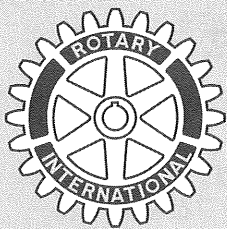
5. 会場 愛知県瀬戸市、長久手町、豊田市の約173ha（海上の森、青少年公園、科学技術交流センター予定地）

（尚、事務方はRC会場は「海上の森」へ設置を希望しているがまだ未定）

次に、博覧会の顔となる総合プロデューサーとして、泉真也、菊竹清訓、木村尚三郎の各氏、実務のチーフプロデューサーとして、原田鎮郎、福井昌平、牧村真史の各氏が夫々決定した。何れも、国際的な過去の催物に関係したベテランばかりといわれる。

開催期間を通じ、地球規模での市民参加（1,500万人）を得、人類と自然の関係の再認識、子どもから高齢者までの人々が生きる喜びや将来の夢を語り合うきっかけ（国際RCの主旨と合う。更にRC会場の空時間内に万博同窓会、万博金婚式・銀婚式等の利用も事務局として望んでいる）とし更に、当地域が環境も考えた新たな価値を生み出す世界的な産業技術の中核圏域形成の契機となり、未来への希望に満ちた博覧会にしたいという考えがまとまりました。

RC会場場所については、未だ決定されていません。以上中間報告に代えます。



Japan Rotary Web

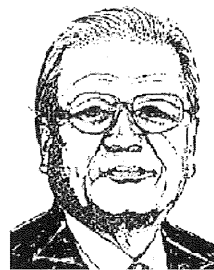
マイホームページのご紹介

西尾張分区 2クラブ

アドレス <http://www5.ocn.ne.jp/~rc138/> rc138@lily.ocn.ne.jp

一宮RC

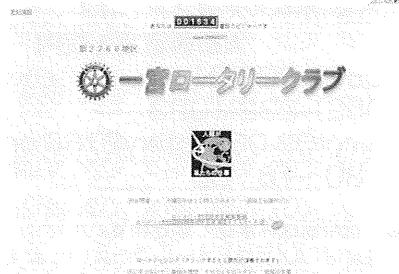
200年12月7日、幾多の困難を乗り越え、ホームページを公開する事ができました。会長の「会員の手作りで、予算はゼロ・・・」という心温まるご指示により5名による作成委員会が発足しました。全員がパソコン初心者、委員会を開催するたびに飲み会になってしまい、なかなか前に進みませんでした。おかげで大変楽しい委員会でした。



一宮ロータリークラブ会長

松本 和徳

コンテンツの一つ、「ちょっといい話」は一宮ロータリークラブ創始者の一人、故安野譲次氏が著されたエッセイ集「はげすずめ」から抜粋して連載しています。ロータリーのエッセンスを味わえるものとしてご紹介します。「私の職業奉仕」は自らの職業について見つめなおす会員の真摯な姿をかきま見ることができます。



アドレス <http://www4.ocn.ne.jp/~inazwarc/> inaz-rc@sweet.ocn.ne.jp

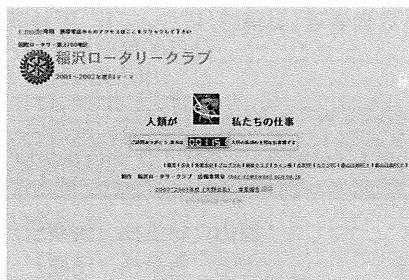
稲沢RC

8項目掲示してあります。7月29日更新をいたし、クラブの概要と歩み、今年度の基本方針、行事予定表、姉妹クラブの紹介、特に当クラブの特色でもある海外姉妹クラブとの交流の様子は詳細に掲示して有ります。今後は英語での掲示をも考えております。そして週報及びその他連絡事項等を掲示をすれば、携帯電話からでもアクセスできますのでなにかと今以上に活用できるかと思われます。今年度の広報委員会の事業計画で有ります。是非一度稲沢RCのホームページを開いて下さい。



稲沢ロータリークラブ会長

加藤 耐



ガバナー公式訪問の日程変更の御知らせ

太田賢太郎ガバナー骨折入院のため8月27日よりの公式訪問が中止となり以後の公式訪問日程が未定となっていました。諮問委員会の決定、助言により

1. 8月27日～11月7日までの63RC公式訪問の全日程を延期させていただきます。
2. 公式訪問再開日程は太田ガバナーの回復状態を確認の上、11月ごろより各クラブと協議の上、完全な体調で実施させていただきたいと願っています。
既に万全の準備で公式訪問をお待ちいただいた関係者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けし申し訳ありませんが、この事情をご賢察の上御了解、御協力下さるようお願い申し上げます。
3. 11月17～18日に碧南市で行われます地区大会は太田ガバナーの主催で予定通り開催されますのでご参加お待ちしております。

ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ

国際ロータリー2760地区

ガバナーエレクト 岡部 快圓
(名古屋大須RC)

次期地区幹事	伊藤 宏
次期地区会計長	加藤 正樹
次期地区監事	横内 恭
次期地区副幹事	高木 哲朗
	吉田 隆彦
	横井 衛
	草野 勝彦
	藤田 徹
	堀江 英弥
	浅井 隆宣
	岩崎 征一

次期地区スタッフ

杉本 英夫
前田 勝夫
杉浦 令淑
小島 雅尚
安田 幸子

事務局員

事務所／〒461-0011

名古屋市中区大須2-21-47

大須観音宝生院内

電話番号／(052) 229-8110

FAX／(052) 232-1023

E-mail／governor02-03@rotary2760.org

執務時間／9:30～16:30

土曜・日曜・祝祭日は休ませて頂きます。

休務日のご連絡はFAX又はEメールでお願いします。

文庫通信 第167号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料(貸出可)など、1万8千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新世代のために

◎「インターアクトの翼に寄せて 第23回海外交歓研修旅行」
D.2830 2000 42頁 [申込先:ロータリー文庫]

◎「INTERACT CLUB 27-活動報告書」
岡崎城西高校IAC 2001 63頁 [申込先:ロータリー文庫]

◎「相手を理解することコミュニケーションとは何か」
高瀬昭治 2000 9頁 (D.2670・D.2680第22回RYLAセミナー報告書)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「世界の未来に私達は、そして皆さんは…」 今井鎮雄

2000 24頁 (D.2670・D.2680第22回RYLAセミナー報告書)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「日本人の心—その拡大志向と縮小志向—」
小笠原隆元 2000 13頁 (D.2600第12回RYLA報告書)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「アジアそして世界へ心の翼を広げよう」 周 琪
2000 5頁 (D.2650未来にはばたく若人の集い報告書)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「人と心と相撲」 長岡末広 2000 5頁
(D.2650未来にはばたく若人の集い報告書)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「津波が変えた私の人生」 道下俊一 2000 15頁
(D.2500第21回RYLAセミナー報告書)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

◎「危機管理(災害時)について」 野村誠也 2000 9頁
(D.2500第21回RYLAセミナー報告書)
[申込先:ロータリー文庫(コピー)]

申込先／ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

開館／午前10時～午後5時 休館／土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

訃報

謹んでお悔やみ
申し上げます

渡辺 幸久様(渥美)

町田 元寛様(尾張旭)

長谷川二郎様(豊山一城北)

加藤 鈔様(瀬戸)

蓑田 藤生様(西春日井)

山内 昌彦様(田原)

岩田金治郎様(名古屋和合)

山田 正平様(一宮中央)

会員数及び出席報告

平成13年7月分

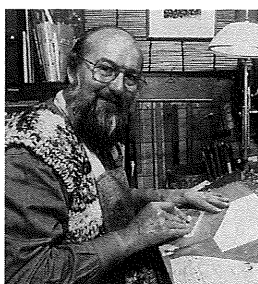
分 区	クラブ名	会 員 数		入 会		退 会		例 会 数	7 月 出席率	女 性	
		2001年 7月1日	2001年 7月末日	7月	累計	7月	累計				
南尾張分区分	半 田	65	70	5	5	0	0	4	100.00	2	
	常 滑	69	69	0	0	0	0	3	97.81	0	
	東 海	55	55	0	0	0	0	4	95.46	3	
	東 知 多	63	65	2	2	0	0	4	85.94	0	
	半 田 南	56	56	0	0	0	0	4	99.03	0	
	知 多	38	40	2	2	0	0	5	98.37	0	
	6RC	346	355	9	9	0	0	24	576.61	5	
西尾張分区分	一 宮	83	84	2	2	1	1	4	99.40	0	
	津 島	81	81	0	0	0	0	3	100.00	0	
	尾 西	51	51	0	0	0	0	4	97.62	0	
	一 宮 北	66	67	1	1	0	0	3	97.83	0	
	稲 沢	65	65	0	0	0	0	4	100.00	0	
	あ ま	97	98	1	1	0	0	4	99.21	0	
	西 春 日 井	56	55	0	0	1	1	5	100.00	2	
	尾 張 中 央	53	53	0	0	0	0	4	98.59	0	
	一 宮 中 央	68	68	0	0	0	0	4	96.59	5	
	9RC	620	622	4	4	2	2	35	889.24	7	
東尾張分区分	瀬 戸	82	82	0	0	0	0	4	96.04	0	
	犬 山	84	85	1	1	0	0	5	100.00	0	
	江 南	77	71	0	0	6	6	4	100.00	1	
	小 牧	70	71	1	1	0	0	4	90.45	1	
	春 日 井	86	86	0	0	0	0	3	98.44	4	
	尾 張 旭	54	54	1	1	1	1	3	100.00	0	
	名古屋空港	60	62	2	2	0	0	5	95.52	0	
	瀬 戸 北	70	70	0	0	0	0	4	100.00	0	
	岩 倉	33	33	0	0	0	0	5	93.94	0	
	豊山一城北	43	42	0	0	1	1	5	98.38	2	
	10RC	659	656	5	5	8	8	42	972.77	8	
西名古屋分区分	名 古 屋	212	215	3	3	0	0	5	95.35	0	
	名 古 屋 西	131	133	2	2	0	0	4	93.53	0	
	名 古 屋 南	125	125	0	0	0	0	4	99.20	0	
	名古屋みなと	107	109	2	2	0	0	3	100.00	0	
	名古屋東南	80	82	3	3	1	1	4	96.51	4	
	名 古 屋 中	150	152	2	2	0	0	5	98.72	0	
	名古屋瑞穂	91	92	1	1	0	0	4	96.10	0	
	名古屋大須	78	79	1	1	0	0	4	100.00	0	
	名 古 屋 栄	81	81	0	0	0	0	5	98.97	0	
	名古屋名駅	111	111	0	0	0	0	4	95.91	2	
	名古屋名南	86	88	2	2	0	0	5	98.07	16	
	名古屋西南	56	57	1	1	0	0	4	96.32	7	
		12RC	1308	1324	17	17	1	1	51	1168.68	29

平均出席率 78 97.45

分 区	クラブ名	会員数		入 会		退 会		例 会 数	7月 出席率	女 性
		2001年 7月1日	2001年 7月末日	7月	累計	7月	累計			
東名古屋分区分	名 古 屋 北	105	107	2	2	0	0	3	98.54	0
	名 古 屋 東	99	100	1	1	0	0	5	97.70	0
	名古屋守山	75	75	0	0	0	0	4	93.65	5
	名古屋和合	105	105	0	0	0	0	4	100.00	0
	名古屋名東	79	79	0	0	0	0	5	100.00	7
	名古屋名北	62	63	1	1	0	0	4	100.00	6
	名古屋千種	69	69	1	1	1	1	5	98.40	6
	名古屋昭和	74	75	1	1	0	0	5	99.46	0
	名 古 屋 錦	44	44	0	0	0	0	5	74.71	9
	名古屋東山	66	65	0	0	1	1	4	98.43	0
10RC	778	782	6	6	2	2	44	960.89	33	
東三河分区分	豊 橋	120	120	0	0	0	0	4	99.06	4
	蒲 郡	69	69	0	0	0	0	3	95.60	0
	豊 橋 北	106	109	3	3	0	0	5	98.32	2
	豊 川	74	75	1	1	0	0	4	98.35	0
	田 原	72	71	1	1	2	2	3	95.75	1
	豊 橋 南	69	70	1	1	0	0	5	99.34	0
	新 城	69	69	1	1	1	1	3	97.55	0
	渥 美	51	51	0	0	0	0	4	87.81	0
	奥 三 河	37	37	0	0	0	0	5	93.90	3
	豊 川 宝 飯	61	61	0	0	0	0	5	98.90	0
	豊橋ゴールデン	73	73	0	0	0	0	3	94.45	0
	田原パシフィック	71	73	2	2	0	0	5	95.22	0
	豊 橋 東	51	52	1	1	0	0	5	100.00	0
13RC	923	930	10	10	3	3	54	1254.25	10	
西三河分区分	岡 崎	113	113	0	0	0	0	4	99.52	1
	豊 田	87	88	1	1	0	0	4	98.52	0
	岡 崎 南	106	108	2	2	0	0	3	99.61	3
	豊 田 西	98	98	0	0	0	0	5	100.00	0
	岡 崎 東	97	97	0	0	0	0	4	97.09	0
	豊 田 東	90	90	0	0	0	0	4	98.05	0
	岡 崎 城 南	72	72	0	0	0	0	5	99.72	0
	豊 田 三 好	29	31	2	2	0	0	5	95.00	3
	豊 田 中	56	57	1	1	0	0	3	100.00	4
	9RC	748	754	6	6	0	0	37	887.51	11
西三河分区分	刈 谷	99	99	2	2	2	2	5	100.00	0
	安 城	69	70	1	1	0	0	3	94.36	0
	西 尾	78	79	1	1	0	0	5	99.34	1
	碧 南	81	82	2	2	1	1	4	98.85	0
	一 色	47	47	0	0	0	0	4	99.46	0
	高 浜	51	52	1	1	0	0	4	99.44	3
	知 立	63	65	2	2	0	0	4	100.00	0
	西尾KIRARA	63	63	0	0	0	0	3	100.00	0
	三 河 安 城	42	43	1	1	0	0	4	100.00	1
	9RC	593	600	10	10	3	3	36	891.45	5
地 区 合 計	5975	6023	67	67	19	19	323	7601.4	108	

地区内クラブ数 78RC	2001.7.1会員数	5,975名	増加会員数(累計)	67名
	当月末会員数	6,023名(内女性108名)	減少会員数(累計)	19名
	当月平均出席率	97.45%	差引純増会員数(累計)	48名

デイヴィッド・ストーンズの見た日本の心より 表紙絵 作者プロフィール



デイヴィッド・ストーンズ [木版画家 岡崎市在住]

1945年(昭和20年)英国生まれ。リンカン美術大学にて印刷とデザインを学ぶ。1968年より世界各地を旅行し、1971年に初来日。1972年再来日し、英語を教えるかたわら、京都在住の版画家・徳力富吉郎氏の許にて木版画の教えを受ける。

1981年名古屋市より岡崎市郊外の農家に移り住み、以後独学にて勉強を続ける。1983年第1回個展を岡崎にて開催し、以後、各地で個展を開催する。

昔から受け継がれてきた日本の伝統的な方法で、木版から摺るということ。

本来の印刷の世界に戻って、手漉き和紙、自然の絵の具を利用し、版木の質を生かしたよりよい作品の製作を志し、彼独特の木版画の世界をつくりあげている。

URL. <http://www.i-chubu.ne.jp/stones/>



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 太田 賢太郎

〒444-0059 岡崎市康生通西3丁目16番地 康生ビル406号

Tel.(0564)65-5552 Fax(0564)65-5553

E-mail governor01-02@rotary2760.org

URL <http://www.rotary.2760.org>